

社会貢献フォーラム in 札幌



地域が支える 子どもの未来



タレント・元プロボクサー 内藤 大助 氏

北田郡霞浦町生まれ。2002年WBC世界フライ級王者ボンサレック(タイ)に挑んだが日本人世界戦最初の1R34秒KO負け。07年3度目の挑戦でボンサレックを倒して世界王座を獲得。元WBC世界フライ級チャンピオン。11年に現役引退後はタレントとして活躍中。

スポーツとあそびで育む
心と絆



●主催／全日本社会貢献団体機構、北海道新聞社、全国地方新聞社連合会
●後援／北海道、北海道教育委員会、札幌市教育委員会、NHK札幌放送局、北海道文化放送、共同通信社、全日本遊技事業協同組合連合会、札幌方面遊技事業協同組合

就職で内定取り消し、
母親の指示で上京

第1部
講演

スポーツが変えた心



考える社会貢献フォーラム「地域が支える子どもの未来」(全日本社会貢献団体機構、北海道新聞社、全国地方新聞社連合会主催)が11月12日、道新ホール(札幌市中央区)で開催された。プロボクシング元世界王者、内藤大助さんの講演とパネルディスカッションに、約300人の来場者が熱心に聞き入った。

農浦町で過ごしました。高3のときに就職活動が始まり、特にやりたいことがなかったのでアルバイトをしていました。先輩の勧めでそのホテルの試験を受け、就職が内定してしまったが、僕の勤務態度に問題があり就職週間に内定取り消しになってしまいました。

僕は小さなころから母子家庭で育てきました。母は寝る時はしつけに悪いと思う古い考え方の人で、そのときは怒って殴られたと思つていいが、僕は母子家で優勝して新聞で載り、その後日本チャンピオンになりました。僕は「オレ」とうなり、ルーキーのトーナメントで優勝して新聞で載り、それが父や兄のいる埼玉に行かされました。母はボクシングを始め、プロボクサーになってデビュー。新人王になりましたがボクシングで離婚した父や兄のいる埼玉に行かれました。母はやはり褒めてほされませんでした。

僕は中学2年のときにも同じ級生からいために遭いました。最初はからかいから始まり、それがエスカレートしたので制服を着ているのを見て、「ボクシングが来た」と言つて笑う同級生が一人いるのです。きつかけはそんな一人の同級生が穴のあいた兄のお父さんは変われる。そんなことを僕はボクシングから学び、ボクシングの素晴らしさを一人でも多くの人たちに伝えていきました。

僕は高校卒業まで北田郡農浦町で過ごしました。高3のときに就職活動が始まり、特にやりたいことがなかったのでアルバイトをしていました。先輩の勧めでそのホテルの試験を受け、就職が内定してしまったが、僕の勤務態度に問題があり就職週間に内定取り消しになってしまいました。

僕は小さなころから母子家庭で育てきました。母は寝る時はしつけに悪いと思う古い考え方の人で、そのときは怒って殴られたと思つていいが、僕は母子家で優勝して新聞で載り、その後日本チャンピオンになりました。僕は「オレ」とうなり、ルーキーのトーナメントで優勝して新聞で載り、それが父や兄のいる埼玉に行かれました。母はボクシングを始め、プロボクサーになってデビュー。新人王になりましたがボクシングで離婚した父や兄のいる埼玉に行かれました。母はやはり褒めてほされませんでした。

僕は中学2年のときにも同じ級生からいために遭いました。最初はからかいから始まり、それがエスカレートしたので制服を着ているのを見て、「ボクシングが来た」と言つて笑う同級生が一人いるのです。きつかけはそんな一人の同級生が穴のあいた兄のお父さんは変われる。そんなことを僕はボクシングから学び、ボクシングの素晴らしさを一人でも多くの人たちに伝えていきました。

小林(学生) マルシェーとは

北海道教育大学岩見沢校教授

山本理人氏

1962年東京都生まれ。東京学芸大学大学院修了。専門はスポーツ教育学、生涯学習社会におけるスポーツ学習支援のあり方を研究。

中野涼子氏

2010年UHB入社。スポーツ番組のMCや北海道マラソンにてUHB女性ナウンサー初のハイクオリティなどスポーツ取材を中心担当。神奈川県出身。

■企画・制作／北海道新聞社広告局

全日本社会貢献団体機構は 未来に向けて平和で住みよい 社会づくりをめざしています。



全日本社会貢献団体機構は、全国のパチンコ・パチスロホール組合の連合会組織である全日本遊技事業協同組合連合会(全日遊連)を母体として2005年12月に設立された任意団体で、学識経験者、文化人、政財界関係者が参加し、平和で住みよい社会づくりに貢献する事業への助成や社会貢献活動の顕彰を主な活動としています。



私たちは、社会に役立ち必要とされる研究や事業、活動をサポート・応援しています。

助成事業

今日の社会に最も必要とされる研究や活動に対する助成事業は、当機関の根幹事業です。毎年、子どもの健全育成や東日本大震災の被災者を元気づける活動に対し、助成を行っています。

◆平成28年度助成事業(実績の一例)



「若者による被災者・被災地支援活動」事業
[NPOみやこ自立サポートセンター]



「子ども達の可能性と共に創る地域力向上」
プログラム事業
[NPO初来まちづくりサポートセンター]



「子ども理科実験教室2016」事業
[京都技術士会理科支援チーム]

顕彰事業

会員の社会貢献活動を顕彰し、今後一層の活動を期待して、年間で最も優れた社会貢献活動に「社会貢献大賞」を授与することとし、平成17年から実施しております。

第10回 社会貢献大賞

「災害復興支援」事業
広島県遊技業協同組合



救援活動を通じて地域貢献や地域連携は、

第11回 社会貢献大賞

「周年記念“安全・安心とくすの街づくり”事業
和歌山県遊技業協同組合



地域の多様な資源を活用して、

第12回 社会貢献大賞

「心臓移植手術を要する県内在住の2人の幼児への支援活動」事業
神奈川県遊技業協同組合



全日本社会貢献団体機構 TEL.03-5227-1047 http://www.ajosc.org